

こしぶばし  
小渋橋

「伊那谷三六災害」を記憶する3連アーチ

三六災害の際に発生した大西山の大崩壊は、42名の命を奪った。  
三六災害で一帯が賽の河原と化した中で、変わらぬ姿で架かっていた3連アーチの橋。  
アーチと桁側面のへこみがしっかりと造られ、コンクリート橋の外観を引き締めている。  
2011(平成23)年に国の登録有形文化財に登録され、信濃の橋百選に選定されている。



橋の後方に見える大西山崩壊地が災害の爪跡を物語っている



登録有形文化財に指定されている

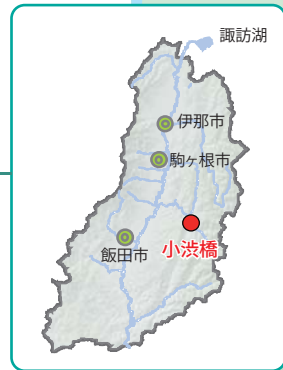
information

□ アクセス

松川ICから20 km  
車→40分

□ 所在地

大鹿村大河原



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)

川の合流点

南アルプス赤石岳に発する小渋川が狭い峡谷から解放され、大鹿村大河原で青木川と合流する少し上流に架かる橋が小渋橋である。

現在

以前は国道152号の橋だったが、その座を下流の新橋に譲り、現在は村道橋となっている。